

# 女性がかかりやすい病気について

## ● 月経に関する症状

### 月経前症候群（PMS）

月経開始3～10日前から始まるさまざまな心身の不快症状で、月経が始まると症状が軽快、消失します。腹部緊満感・肩こり・頭痛・むくみ・便秘などの身体的症状や、イライラ感・情緒不安定・無気力・集中力低下などの精神的症状があります。原因ははっきりとわかっていませんが、女性ホルモンの変動が関わっていると考えられています。

### 月経困難症

月経にともなっておこる病的症状のことです。月経時または月経直前から始まる強い下腹部痛や腰痛を主な症状とします。他、お腹の張る感じや吐き気、頭痛、疲労感、食欲不振等の症状が出ることもあります。子宮内膜症、子宮腺筋症などの疾患が隠れていることもあります。

## ● 子宮と卵巣の病気

### 子宮内膜症

子宮内膜またはそれに似た組織が、本来あるべき子宮の内側以外に発生・発育する病気です。月経痛の他、月経時以外の下腹部痛、腰痛、排便痛、性交痛などの症状がみられます。不妊の原因になることもあります。原因は明らかになっていませんが、月経の回数が多いほど発生頻度が増加すること、女性ホルモンの影響を受けて進行することが分かっています。

### 子宮腺筋症

子宮内膜に似た組織が、子宮筋層の中にできる病気です。月経痛、過多月経（経血の量が多い）、骨盤痛などの症状が見られます。不妊の原因になることもあります。原因ははっきりとわかっていませんが、女性ホルモンの影響を受けて進行することがわかっています。

### 子宮後屈

女性の約80%は子宮がおなか側に傾いています。一方、約20%の方は子宮が背中側に傾いており、これを子宮後屈といいます。多くは生まれつきであり、他に異常を伴わなければ問題なく病気とはみなしません。ただし、子宮内膜症など他の疾患が原因で後屈となっている場合には、治療を要することがあります。

## 卵巣のう腫

卵巣にできる腫瘍のうち、液体で満たされた袋状の病変のことで、ほとんどは良性です。袋の中身により「漿液性のう腫」「粘液性のう腫」「皮様のう腫」「チョコレート性のう腫」などに分類されます。小さいうちは自覚症状がないことが多いですが、大きくなると、お腹の張った感じや、下腹部の痛み、腰痛、便秘などの症状がみられます。また、腫瘍によって卵巣の根元がねじれた状態になったり、腫瘍が破裂した場合は、突然激しい痛みが出ることもあります。

## 子宮がん

子宮に発生するがんで、子宮の入り口部分にできる子宮頸がん、子宮の奥の部分にできる子宮体がんがあります。

### ① 子宮頸がん

子宮の入り口（子宮頸部）に発生するがんです。ほとんどは「ヒトパピローマウイルス（HPV）」というウイルスの感染が原因です。男女を問わず、性交渉の経験がある多くの人々が HPV に感染するといわれています。通常は免疫の力でウイルスが自然に排出されますが、一部の人は感染が持続し、進行してがんになります。

### ② 子宮体がん

子宮の内側を覆う子宮内膜に発生するがんです。更年期（40～60代）以降の女性に多くみられます。最も多い自覚症状として不正出血（月経時以外の性器出血）があります。女性ホルモンによる刺激が長く続くことが原因の「タイプ1」と、女性ホルモンが関係しない「タイプ2」があります。

## ● 乳房の病気

### 乳腺症

乳腺に起こる良性の疾患の総称です。乳房の張り、痛み、腫れやこぶなどの症状が現れますが、乳腺炎や乳がんのような明確な病気とは異なります。30～50代の女性に多く、女性ホルモンのバランスがくずれることが要因とされています。月経前に症状が強くなり、月経が始まると軽減するのが特徴です。

### 乳がん

乳房の中にある乳腺組織にできるがんです。主な症状は、乳房のしこり、乳房皮膚のくぼみ、乳頭・乳輪部の湿疹やただれ、乳頭からの異常な分泌などがあります。女性ホルモン（エストロゲン）による刺激や、食生活、喫煙、遺伝などがリスク要因として挙げられます。

## ● その他の病気

### 更年期障害

閉経前の5年間と閉経後の5年間とを合わせた10年間を「更年期」と言います。更年期には、女性ホルモン（エストロゲン）の減少により様々な症状が現れます。その中で、他の病気に伴わないものを「更年期症状」と言い、さらに、症状が重く日常生活に支障をきたす状態を「更年期障害」と言います。ほてり・発汗・めまい・動悸などの身体的症状や、気分の落ち込み、イライラ、不眠などの精神的症状があります。

### 骨盤臓器脱

膀胱・直腸・子宮・膣などが膣口から脱出する状態を言います。出産や加齢などにより臓器を支えている骨盤底の筋肉が緩むことが原因と考えられています。陰部に何かが触れる・挟まっているような感覚や、尿漏れ、排尿困難・排便困難などの症状がみられます。

### 微小血管狭心症

更年期前後の女性に多いとされる狭心症です。身体を動かすこととは無関係に胸の痛みや圧迫感が起こり、通常の狭心症より持続時間が長いのが特徴です。胸の痛みがなく、息苦しさや吐き気、胃痛、背部痛、動悸などが表れることもあります。原因ははっきりとわかっていませんが、女性ホルモン（エストロゲン）の減少が関係していると考えられています。また、喫煙、寒冷、精神的ストレスなどが誘因となることも知られています。